

平成31年 第2回(平成31年1月17日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

- 議 案 ・四日市市学校規模等適正化計画平成30年度改訂版(案)について
- 報 告 ・平成30年度第1回四日市市教育施策評価委員会視察について
・平成30年11月定例月議会の報告

議事概要

○協 議

- ・四日市市学校規模等適正化計画平成30年度改訂版(案)について

四日市市学校規模等適正化計画平成30年度改訂版(案)について協議を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・さらなる適正化を進めるための大事なスタートの時期に来ている。長期的な見通しを持つとともに、この計画を幅広く周知して、市民から意見をもらえるような仕組みを作ることも重要である。
- ・ブロック化の案は、一見すると今後はそのブロック内だけでの交流に限られるように感じる。ブロック内での交流だけでなく、市全体での交流がどのように行われていくのかが見えれば、ブロック化の仕組みがよりわかりやすくなる。
- ・全国的に少子化が進むなか、大規模化が進む学校もある。地域によっても学校の様子は様々であるが、四日市のどの地域であっても同じ環境で同じ教育を受けられるようにしてほしい。

○報 告

- ・平成30年度第1回四日市市教育施策評価委員会視察について

平成30年度第1回四日市市教育施策評価委員会視察について報告を行いました。

視察の概要

日 時：平成30年11月9日(金)

場 所：四日市市立日永小学校

テーマ：第3次四日市市学校教育ビジョン 基本目標4「学校教育力の向上」
(幼保小中の連携を生かした教育「学びの一体化」の充実)に係る施策
の実施状況について

内 容：日永小学校では、高学年において一部教科担任制を実施している。専科
教員による授業の様子を視察した。

<委員からの主な意見>

- ・小1から中3までの9年間の学びをどのように担保するかが重要である。そのためには、9年間の学びを一貫したカリキュラムが必要だろう。そのようなカリキュラムを作ることができれば、小学校の先生は中学校を見越した指導ができ、中学校の先生は小学校での学びを踏まえた指導を行うことができるだろう。
- ・小・中の教員がお互いのことを知る機会があれば、教科担任制の効果がさらに上がることが期待できる。例えば、管理職も含めて小・中間での人事交流もそのひとつだろう。

四日市市教育委員会 教育総務課政策グループ

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5

電話: 059-354-8237 FAX: 059-354-8308

電子メール: kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp